

# PLATEAUの3D都市モデルを活用した ユースケースの紹介

## 令和4年度採択都市の個別事例

広島県

【令和4年6月時点】

# I. プロジェクト全体像

## 1. 実施事業・事業規模

- ◆ 本県では、令和3～5年度の3箇年かけて都市計画基礎調査を実施しており、県内全ての都市計画区域において「建物利用現況調査」を実施することにした。
- ◆ **基礎調査結果の利活用**に向けて、R3年度に海田町（県西部）の3D都市モデルを**県が先行事例として整備**し、官民が保有する様々なインフラデータを一元化・オープンデータ化するために構築を進めている**インフラマネジメント基盤「DoboX」**において**公開予定**。
- ◆ 今年度も県において、府中市（県東部）の3D都市モデルを構築するとともに、**これら2市町の3D都市モデルの活用事例を他市町に横展開することで、市町独自の3D都市モデルの構築を促す**。

(百万円)

R4年度実施事業		規模（想定）	
		事業費	国負担分
(1)	3D都市モデル整備事業（建物データ変換）	2	1
(2)	3D都市モデル整備事業（浸水区域データ変換）	8	4
(3)	変換したデータ（建物・浸水）のシステムへの搭載		
(4)	住民向け防災講座等での活用	—	—



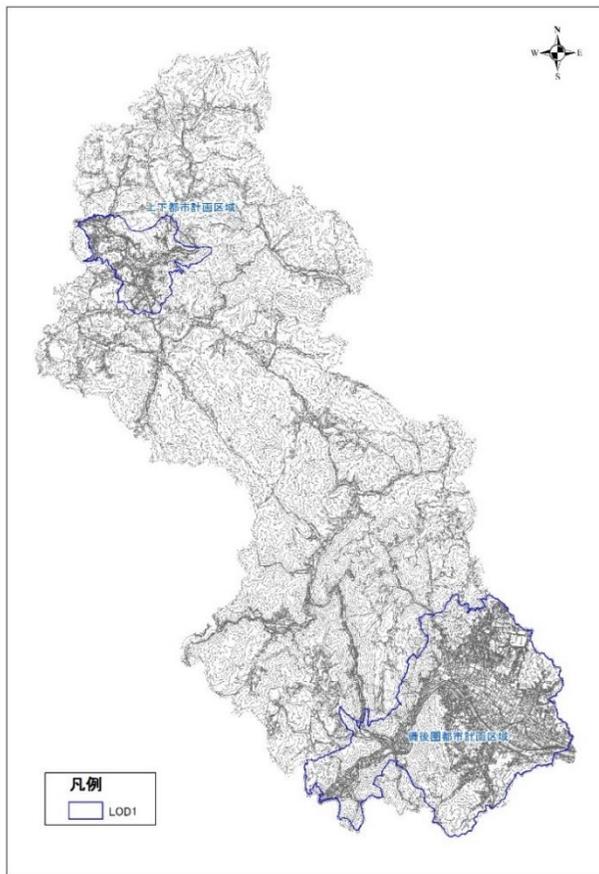
PLATEAU  
by MLIT

## Ⅱ. 3D都市モデルの整備

### 1.整備する3D都市モデルデータの概要

- ◆ 府中市の都市計画区域（約43km<sup>2</sup>）内の建物、浸水想定区域、土砂災害（特別）警戒区域をLOD1により整備（※その他の基本セットの整備については、事業者等と調整中）

#### 《整備エリア図》





# Ⅲ. 3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

## 1. ユースケース開発の概要

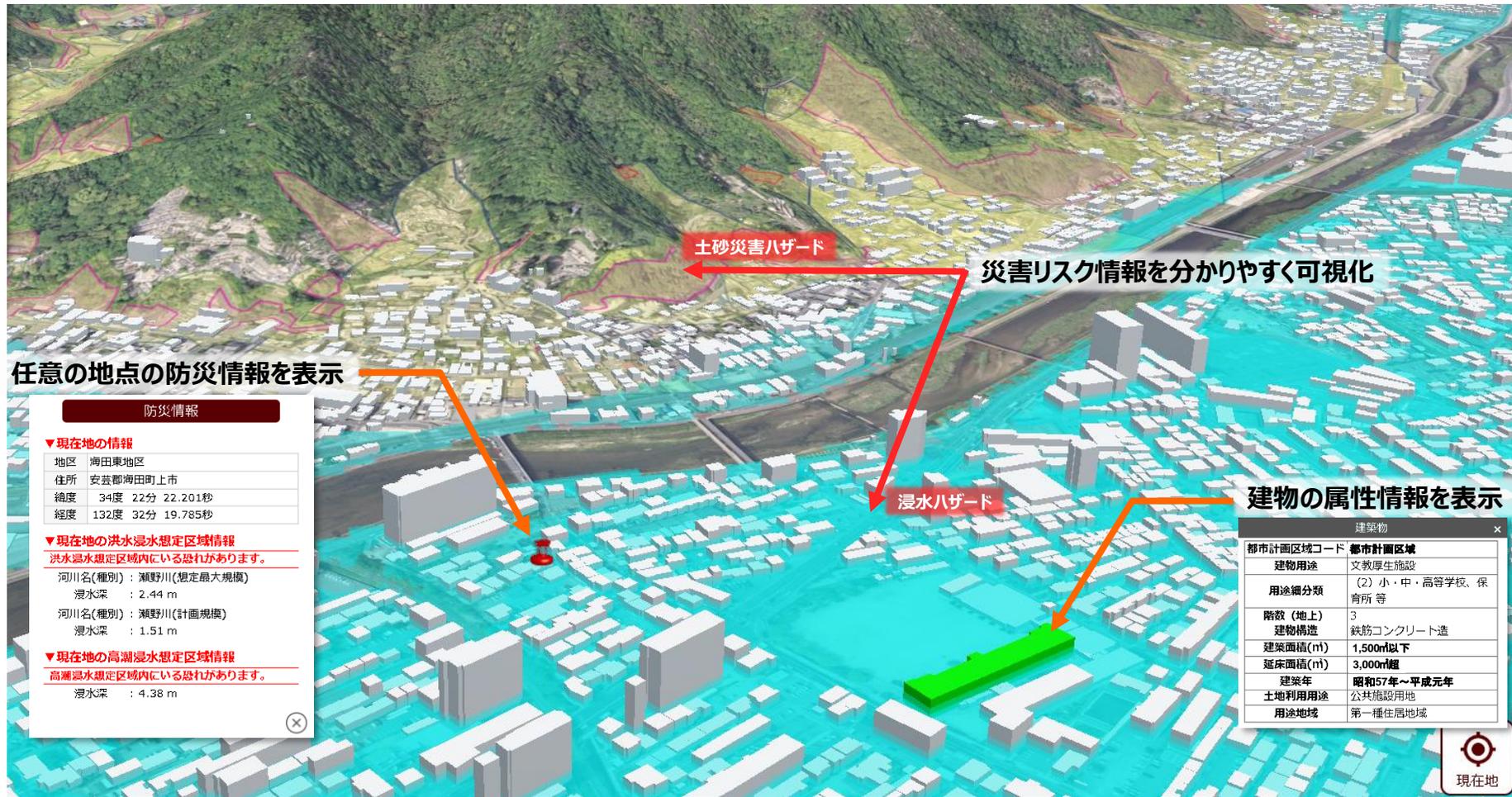
1. ユースケース開発のテーマ	防災		
2. ユースケース開発の件名	災害リスクの3D可視化による防災意識醸成及び「マイ・タイムライン」の普及促進		
3. ユースケース開発の概要	府中市の3D都市モデルに土砂災害や浸水等の災害ハザード情報を重畳することで、 <b>より分かりやすく災害リスクを可視化し、住民の防災意識を醸成するとともに、住民向け防災講座等で活用することにより、「マイ・タイムライン」の普及促進を図る。</b>		
4. 実施体制・役割分担	<table border="1"><tr><td>実施主体 (委託先等)</td><td><ul style="list-style-type: none"><li>・3Dマップ構築事業者<ul style="list-style-type: none"><li>➢府中市3D都市モデルの構築及び災害ハザード情報の重ね合わせ</li></ul></li><li>・府中市<ul style="list-style-type: none"><li>➢住民向け防災講座等で活用</li></ul></li></ul></td></tr></table>	実施主体 (委託先等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・3Dマップ構築事業者<ul style="list-style-type: none"><li>➢府中市3D都市モデルの構築及び災害ハザード情報の重ね合わせ</li></ul></li><li>・府中市<ul style="list-style-type: none"><li>➢住民向け防災講座等で活用</li></ul></li></ul>
実施主体 (委託先等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・3Dマップ構築事業者<ul style="list-style-type: none"><li>➢府中市3D都市モデルの構築及び災害ハザード情報の重ね合わせ</li></ul></li><li>・府中市<ul style="list-style-type: none"><li>➢住民向け防災講座等で活用</li></ul></li></ul>		



PLATEAU  
by MLIT

# Ⅲ. 3D都市モデルの活用（ユースケース開発）

## 2. ユースケース活用イメージ





PLATEAU  
by MLIT

# IV. 事業化までの庁内調整の流れ

- ◆ 令和2年度に策定した県総合計画において、**「DXの推進」を全ての施策を貫く視点の一つとして掲げており**、同年度末に策定した建設分野のDX施策である**「広島デジフラ構想」**では、具体的な取組として**「基礎調査結果を活用した3D都市モデルの構築」**を掲げている。
- ◆ 以上のように、**「庁内全体としてDX関連の取組に向けた機運が高まっており**、また、**「あらかじめ取組の周知も図っていたこと」**から、**「庁内調整しやすい状況であった」**。

